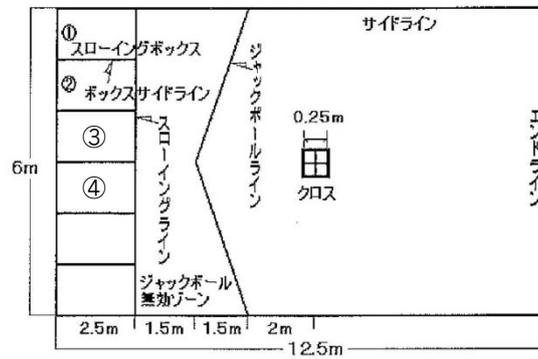


全国障害者スポーツ大会「ボッチャ競技」の概要

導入大会 2021 年第 21 回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」

対象者	重度肢体不自由者(身体障害)
競技別	個人競技(チーム戦のみ)
参加枠	原則として全選手団(都道府県・政令指定都市)に1チームの参加枠
チーム編成	立位選手1名、座位選手1名の計2名
競技規則	同年度の日本ボッチャ協会競技規則(全国障害者スポーツ大会版)
使用コート	日本ボッチャ協会の定めるコート寸法(12.5m×6m) ※ただし、会場の条件等によりエンドラインまでの距離を10mまで短縮することができる



競技で使用するスローイングボックスは3番と4番のみとする。

使用ボール	原則、日本ボッチャ協会の公認ボール(赤色6個、青色6個、白色1個)
投球補助	ボールを投げることのできない座位選手は、投球補助具(ランプ)を使用できる
競技方法	競技は1対1の個人戦を2エンドで行い、その総得点で勝敗を決める 同点の場合はタイブレイクで勝敗を決める(各チーム代表によるファイナルショット制度) 試合は、各プールのリーグ戦方式で行い順位を決定し、上位3チームを表彰する 各プールは3チーム以上4チーム以内とする。 試合はリレー方式とし、エンドごとに選手が交代する。立位選手と座位選手の順番は問わない。

■ボッチャの障がい区分(区分番号1~10)

すべて投球時の姿勢を基準とする。

(1)車いす利用者・座位者

- (ア)四肢麻痺者・片麻痺者等、車いすまたは椅子座位で競技をする選手。
 - (イ)投球はできるが車いすの方向を変えたり、移動したりすることが機能的に困難な選手。
 - (ウ)投球することが困難で、ランプを使用して競技する選手。
- ※(イ)及び(ウ)の選手は、1選手に1人競技アシスタントが認められる。

(2)立位者

- 立位で競技するもの。
- 日常的に車いすを使用しているものでも、投球時に立っているかで判断される。